

議 事 録

1. 開 会
 2. 委嘱状交付
 3. 会長あいさつ（橋本市長）
 4. 議 題
- 会長
（1）副会長の選出
- 事務局(生涯学習推進係長)より説明
鳥栖市民生委員児童委員連絡協議会からの委員を選出し、委員の承認を受ける。
- 会長
（2）青少年問題等への各関係機関の取り組みについて
質疑は、最後にまとめて行う。
- 生涯学習推進係長
青少年育成事業について資料に基づき説明
- 学校教育課長
市内小・中学校の取組状況について資料に基づき説明
- 生涯学習推進係長
青少年育成市民会議の活動について資料に基づき説明
- 会長
質問・意見
- 委員
P21 青少年市民会議の活動の「一家団らんの日（家庭の日）」について、鳥栖市として何か活動をしているのか、子育て世代に対してアナウンスをしているのか。
- 生涯学習推進係長
関係団体に対しお知らせしています。
- 委員
関係団体とはどんなところか。
- 生涯学習推進係長
青少年育成市民会議の構成団体、地区の青少年育成会、地区区長会などの代表です。
- 委員
児童から家庭に持って帰ってもらうのが一番のルートだと思うので、PTA連合会と連携し周知を図るのはいかがでしょうか。
- 会長
そうしなかった理由は何か。
- 生涯学習推進係長
各学校やPTAの活動で、「ノーテレビ・ノーゲームデー」を実施しており、1日にその活動があっているため、第3日曜日の「家庭の日」と、その趣旨が似たところもあるため、調整が難しいところです。
- 委員
以前から「家庭の日」については、以前から進められているが、アナウンスができていないのが現状です。

中学校部活について、佐賀県では、毎月第3日曜日を「県下一斉部活動休養日」に設定されました。これは、「家庭の日」に合わせたところがあります。「ノーテレビ・ノーゲームデー」の実施は、各学校により異なりますが、効果はありますので、今後調整できたらと考えています。

○会長

先日の教育総合会議の中でも、家庭の教育力を回復させないと、いろんな教育効果は生まれないと感じています。

効果が上がる取組をしていきたくたいと思います。

○委員

P17の8参考資料の児童生徒の不登校数で、不登校の原因と、学年別の人数を教えてください。

○学校教育課長

平成29年度の実績で、学年別は、小学校の1年生が2人、2年生1人、3年生3人、4年生5人、5年生4人、6年生6人、中学校では、1年生15人、2年生29人、3年生24人となっています。

原因は、1つではなく、多いのは小学生では、友人関係、家庭状況、中学生では友人関係、学業不振、家庭状況になっています。

○委員

不登校については、いじめではなく、発達障害等によっておこるトラブルがあります。不登校対策は変化し、昔は学校に来ることを求めていたが、現在は、子どもが元気を取り戻し、学習機会を与えるようになっていきます。

○委員

友人との不適應で不登校になるが、登校する事を必要としない考えを持つ保護者もいます。ただ、中学校は、今後の進路に関わってきますので、学校復帰が一番です。

○委員

その子の個性は、幼稚園の頃から傾向はみられるが、小学校3年生の後半から4年生にかけて目立ってきて、環境になれるのに時間がかかる、対人関係がうまくできない事がでてきます。

学校としては、12年の義務教育の中でその子の個性に合わせ、教育できたらと考えます。併せて、学校・家庭・地域が連携しその子にかかわっていけたらいいと思います。

○委員

私ごとではありますが、孫が小学校2年生の時に不登校になりました。孫を良く知る幼稚園が、小学校に状況を説明され、連携してください、子の母親も「いいよ」という気持ちにゆとりができ、孫は学校に復帰できました。

○委員

フリースクールや子どもがなじめる居場所を作っているところを把握しているか。

○学校教育課長

公的な機関として、市役所西別館2階に「みらい」がありますが、

民間の情報は、把握していません。

○委員

SWと連携できれば、多くの居場所の提供ができると思います。

○委員

登校指導をしているが、田代大官町の交差点は、田代中学校や、香楠中学校、鳥栖高校の生徒、学生が自転車で登校してくるが、その数が多く、接触事故が起こりやすいので、時間差の指導など何か対策が必要とは考えています。

○委員

田代中学校のPTAからも、登校時の交通マナーについては、保護者から子ども達に指導するように言っている。

○委員

民生委員で登校指導をしているが、中学校生徒に注意しても、無視するし、あいさつもしない。学校では指導していると言われるので、家庭教育がどうなのか。

○委員

学校に、地域から電話をいただく。交通マナーの指導は行っており、学期に一度は、職員と保護者で交通指導に立っているが、十分な指導にはなっていません。

○学校教育課長

学校では、習慣になるように繰り返し指導するが、地域の方にも注意、指導を繰り返ししていただくようご協力をお願いします。

○委員

学校は、教育し、家庭でしつけ、地域では見守っていただきたい。社会や、地域の中で実践させ、繰り返し注意していかなければ習慣にはならない。

○会長

種々の問題に対し、それぞれの立場で、それぞれ引っ張っていただきたい。

先日道路でふさぎ込んでいた人がいたが、誰も見て見ぬふりをして関わろうとしなかった。私が病院まで付き添った。ちょっと踏み込んだおせっかいを心がけないといけないと思います。

○会 長

議題(3)鳥栖警察署管内における青少年非行の概況について

○鳥栖警察署 生活安全課長

鳥栖管内の犯罪発生及び詐欺事件の検挙の事案について説明

○会 長

意見・質問の依頼

○委員

犯罪を犯した少年のバックグラウンドに貧困があるのか。

○生活安全課長

貧困とは限らない。むしろ経済的には困っていない人が多く、個人の特性が大きい。

○委員

複雑な家庭環境にあり、愛情不足が原因なのではないか。
関係団体の方が声をかけてくださることにより、子どもの存在感が認められている。家庭が基本ではあるが、気づかれない家庭もあるので、地域で声かけを今後もよろしくお願したい。

○会長

解決策はなかなか見いだせませんが皆様のご協力を今後もよろしくお願します。

本日は、活発な議論をありがとうございました。

5.閉会